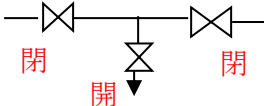


A0101-02	バルブは必ず漏れると考えて対策せよ		
本文	長期にわたる縁切りをバルブだけで行うと、微少の漏れまでを完全に止めることができず、事故発生の可能性が高いので、バルブは必ず漏れると考えて対策をとること。		
リスクの種類	ガス漏洩	関連目次・章節	A0404
理由(何故)	工事や清掃のためなどで、縁切りをバルブだけで行うと、バルブから内容物が漏洩するおそれがあり、特に可燃性ガスや毒性ガス、窒息性のガスが漏れると爆発、中毒および酸欠などの事故を起こす危険性がある。		
方策	<p>機器と配管あるいは配管どうしの接続部、配管のバルブに仕切板を入れて縁切りを確実にすること、或いは、配管を完全切り離すこと。ブロック&ブリード方式(tell-tale とも云う)を採用するときは、チェックのための放出場所や方法について十分配慮すること。</p> <div style="text-align: center;">  <p>注) ダブルブロック&ブリード方式 (tell-tale とも云う)</p> </div>		
事故例	<p>再生塔のスラッジ除去作業にあたり、これに直結する吸収塔にはコークス炉ガスが入っていて、その間の配管(径 1m)の電動弁を閉め、液を溜めて縁切りをした。電動弁が漏れて(推定)液シールが切れ、ガスが再生塔に流入し、電気的火花で爆発した。(死者 1、負傷者 6) (1998.5 化学工場 茨城県)</p> <p style="text-align: right;">(JST 失敗知識データベース)</p>		
法的参考事項	<p>労働安全衛生規則 275 条 高圧ガス保安法一般則第 6 条 2 項第 5 号</p>		
備考			